

## 令和2年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 受賞者一覧

通し 番号	推薦者名 (都道府県・指 定都市等)	受賞者の名称 (個人名・団体名)	功労:A 奨励:B	開始年	主な活動内容	活動分野	
						分野	主な対象
<b>【都道府県・指定都市関係】</b>							
1	青森県	俊文書道会	A	1999年	障害者を含む、小学生から成人までの幅広い年齢層を対象として書道の指導を行い、自己表現の方法の学びや、生きがいを育むための支援を行っている。県内外で「書の発表会」を定期的に開催しており、同会の取組に共感を得ることで、支援の輪を広げている。	文化芸術	すべて(主に知的、情緒、肢体不自由、聴覚等)
2	岩手県	久慈地域卓球バレー協会	B	2017年	他地域との交流大会を含む卓球バレー大会の開催、定期的な練習会等の実施を通じ、障害の有無に関わらず共にスポーツを楽しむ場を提供している。スポーツを通じて地域社会とのつながりが生まれている。	スポーツ、国際交流	すべて(主に肢体不自由)
3	秋田県	NPO法人 アートリンクうちのあかり	B	2015年	地域活動支援センターにおいて、障害者が日常的に集い、制作や交流に取り組む場を提供している。県内各地で、多様な主体と連携して行われる展示会やワークショップに参加して自己表現を行うことで、障害者が自信をもって生活できるようになっている。	文化芸術	すべて(主に知的障害と身体障害)
4	山形県	社会福祉法人 輝きの会 地域福祉センターいきいきの郷	A	2007年	発達障害等のある小学生とその親を対象に、親子で水泳を習得できる場を提供している。生涯にわたってスポーツに親しむきっかけづくりや、集団活動を通して社会性を身につけることにつながっている。	スポーツ	発達障がい、自閉症、知的障がい
5	栃木県	小池上 惇	A	2005年	盲学校教員を退職後、15年に渡り、宇都宮市立中央図書館において音訳・点訳奉仕員の音訳・点訳アドバイザーとして活動し、図書館の障害者サービスの充実に尽力している。また、視覚障害者の立場から、障害理解のための講演会等を県内の学校、企業で実施している。	学習	視覚障がい
6	栃木県	山田リズム体操クラブ	A	1982年	特別支援学校や福祉施設と連携し、障害の有無にかかわらず幅広い年齢層の方々が一緒に楽しめるリズム体操・ダンス教室を公民館で開催している。健康増進のみでなく、障害があっても住みやすい社会づくりを生涯スポーツの側面から支援している。	スポーツ	知的障がい(ダウン症)、肢体不自由児等
7	群馬県	唐沢 和男	A	2003年	ボランティアとして17年に渡り、障害のある青年に、主体性をもった余暇活動、学びの場、交流の場を提供している(参加者同士で話し合い、絵画や折り紙、切り絵等の創作活動を行う支援等)。参加者の社会生活や職業生活を支える原動力となっている。	学習、文化芸術	全ての障害のある青年
8	群馬県	社会福祉法人 婦恋村社会福祉協議会	A	1995年	障害のある方、関心のある方を対象に絵画や書道等のアート活動、ダンス教室、ボウリング大会、バス旅行等のイベントを開催している。参加者は楽しむのみでなく、生活に必要な知識やルールを学んでいる。近隣町村にも活動が広がり、地域の理解や学びに寄与している。	学習、スポーツ、文化芸術	すべて(主に知的障害)
9	埼玉県	る・ばる・デ川口	A	1999年	「る・ばる・デ川口」は、学校で習ったフォークダンスを卒業後も続けたいという障害のある中学生の思いから発足したダンスサークルで、市内公民館にて知的障害児・者を中心に活動している。参加者の余暇活動として、コミュニケーションの場、社会活動の一助となっている。	スポーツ、文化芸術	知的障害児・者
10	千葉県	サンスマイル実行委員会	A	1990年	30年にわたり、障害のある人とない人が同じ舞台上で合唱やダンス、手話コーラス、演奏等を発表できる公演会を開催している。市民も広くボランティアとして活動に参加しており、障害者理解の促進、福祉の増進に寄与している。	文化芸術	全障害

11	千葉県	特定非営利活動法人 いちかわ市民文化ネット ワーク	A	2003年	障害の有無や世代、性別を超えてオリジナルミュージカルを創り公演している。障害者とその家族、地域の学生等によるボランティアが参加しており、稽古や公演を通し、交流する機会となっている。障害者にとって、日々の喜びや生きがい、自信を持つことのできる取組である。	文化芸術	子供から高齢者 まで 障害者・健常者 各世代
12	東京都	板橋区ダウン症児・者 親の会「ほほえみの 会」	A	1986年	ダウン症児の親の会として発足し、誰でも親しみやすい音楽や造形遊び、リトミック等をテーマに活動している。地域の行事やまつり等で演奏を披露し、支援の輪が広がっている。親にとっては育児の不安解消や情報交換に、ダウン症児・者にとっては余暇活動の充実、就労等の励みにつながっている。	学習、スポーツ、 情報保障	ダウン症児・者 親子
13	東京都	きさらぎジュニア	A	1985年	保護者によるボランティア団体が、ミニバスケットボールクラブを立ち上げ、障害の有無に関わらず、バスケットボール、フロアホッケー、ヒップホップを共に楽しむ活動を行っている。区内の多くの学校等を訪問し交流を深めるなど、長きに渡りインクルージョン社会の創設に向けて尽力している。	スポーツ	障害者(知的障 害) 児童(健常者含 む)
14	東京都	公益財団法人 武蔵 野生涯学習振興事業 団	B	2013年	武蔵野市の体育施設の指定管理者として、スポーツ振興の中核的役割を果たす中で、「障害者が日常的にスポーツを楽しむことができる場の充実」と「障害の有無にかかわらず共にスポーツを楽しむ機会の創出」のために継続的に施設整備や事業展開、スタッフの資質向上に取り組んでいる。	スポーツ	すべて(主に知的障 害・肢体不 自由・視覚障 害・精神障害な ど)
15	東京都	東村山音訳の会	A	1975年	図書館が行う視覚障害者サービスへの協力を目的に発足し、図書館での対面朗読、図書資料・行政情報の音声化を行っている。市報を音声化した「声の市報『はと』」は通算1,000号を迎え継続中。製作された録音図書等は、国立国会図書館に提供され、全国の視覚障害者等にダウンロード利用されている。	情報保障	市内在住の視 覚障害者
16	神奈川県	赤坂 美保子	A	2000年	神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会の理事及び秦野支部長として、障がい者スポーツの理解と普及促進を目的に「パラスポーツ教室」を開催している。障がい者スポーツ指導員として、初めて障がい者スポーツに参加する者に、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツ活動を支援している。	スポーツ	障がいのある 方、障がい者の スポーツに関心 のある方等ど なたでも参加可
17	神奈川県	公益財団法人 茅ヶ崎 市文化・スポーツ振興 財団 茅ヶ崎市美術館	B	2016年	障がい者、子ども、アーティスト、研究者等と一緒に美術館周辺の道を歩く「フィールドワーク」を行い、その経験をもとに創作した視覚、聴覚、触覚、嗅覚から感じる新たな作品の展覧会を実施している。また、美術館において障がいがあっても自然に参加や鑑賞ができる工夫を施しており、他の美術館においても参考とした取組が広がっている。	文化芸術	すべて(特に、 視覚障害者、盲 導犬ユーザー、 聴覚障害者、車 椅子ユーザー、 幼児、ベビー カーユーザー、 アーティスト、研 究者、一般)
18	新潟県	特定非営利活動法人 新潟県高度情報社会 生活支援センター	A	2000年	障害者を対象としたPCスキル向上支援のための講座に加え、職業訓練や就労移行型事業も取り入れた活動を実施している。また、自然や様々な人と触れ合う事業を行い、障害者の余暇活動を充実させ、社会生活に必要なスキルを学ぶ機会を提供している。	学習、情報保 障、社会 参加サポ ート	すべて
19	富山県	特定非営利活動法人 障害者アート支援工 房ココベリ	A	2009年	県内の特別支援学校教員やボランティアで構成された組織であり、知的障害者の絵や造形の創作活動の支援や、ワークショップ・展覧会の開催を行っている。作家の自己実現や社会参加に貢献している。	文化芸術	知的障害
20	福井県	のびのびカルチャー講 座	A	1993年	特別支援学校卒業生を対象に、6つの余暇活動の講座(英会話、サッカー教室、生活教室、ダンス教室、カラオケ教室、ウォーキング教室)を定期的に開催している。障がい者の豊かな社会生活や生きがいづくりに寄与している。	学習、スポ ーツ、文化 芸術	知的障害者
21	福井県	ボランティア朗読友の 会	A	1977年	福井県立図書館から音訳図書製作の委託を受け、新聞コラム、料理テキスト等の音訳図書を製作している。製作図書は、全国の利用者に貸出されている。また、図書館利用者の希望に応じて、対面音訳の活動も実施しているなど、全国の視覚障がい者の情報保障に貢献している。	情報保障	視覚障害者

22	山梨県	山梨青い鳥奉仕団	A	1966年	長きにわたり、ボランティア団体として視覚障がい者向けに点訳図書、音訳図書、拡大図書の製作を行っている。毎月研修会を行い、情報提供技術の向上に努めている。地元小中学校等での点字体験、盲学校や施設等での朗読サービス等を行うほか、視覚障がい者の余暇活動を計画し、支援の輪を広げている。	情報保障	視覚障害
23	長野県	長野市点訳グループてんとう虫	A	1983年	ボランティア団体として視覚障害者が用いる点字教材(試験問題集、論文作成用の資料、参考書、塾の教材やドリル、教員の教科用指導書等)を中心に製作活動を行っている。教育や行政と関わりながら、長年にわたり視覚障がい者の学習を支えている。	学習	視覚障がい者
24	静岡県	焼津市くろしお青年学級	A	1988年	特別支援学校を卒業した障害のある社会人を対象に、年間を通してスポーツ、調理実習、買い物、手芸、音楽等の余暇活動の場を提供している。障害のある人が、仲間や地域社会とつながりをもちながら、生き生きとした生活を送るための一助を担っている。	学習、スポーツ、文化芸術、旅行	知的障害
25	愛知県	岩倉市音訳の会 あめんぼ	A	1985年	図書館と連携して、市の広報誌の音声版や録音図書の作成、小中学校での福祉教育授業、障がい理解・啓発イベント、音訳ボランティア養成講座への実施に協力している。さらに、視覚障がい者とその家族によるサロン活動への協力など、長年にわたり音訳等を通じた視覚障がい者の支援に携わっている。	学習、文化芸術	視覚障がい者
26	愛知県	特定非営利活動法人なかまの家	A	2006年	障害児・者とその家族の生涯学習活動の機会として、手作りの技術を学ぶ「おもしろ体験子屋」や、自身の作品を展示する「ひかりの人々展」を開催している。活動は、市内の多くの個人、企業、教育、福祉関係等の協賛を受けるまでに広がり、世代や障害の有無を超えて市民が交流を深める一助となっている。	学習、文化芸術	すべて(主に知的障害者)
27	三重県	四日市市手をつなぐ育成会	A	1962年	本人の興味関心に基づき、四日市市障害者体育会と協働し、フライングディスク、バスケット等のスポーツ活動やボランティアの方の参画を得て、カラオケ、はり絵、ハンドベル、料理、バス旅行等の文化活動を実施している。スポーツ活動では健康維持のみでなく、練習に取り組み、各大会で好成績をおさめる方も出てきている。障がいのある方の生きがいや社会参画につながっている。	スポーツ、文化芸術、学習	四日市市在住知的障がい者
28	京都府	綾部市教育委員会教育部社会教育課	A	2005年	15歳以上の障害者が学習活動を通じて仲間との連携や障害者の社会参加の促進を図ることを目的に、障害種別に応じて、調理、書道、茶道、人権学習、スポーツ教室等の講座や社会見学を実施している。学級生にとって、仲間との交流が心の支えとなり、勤労意欲の向上にもつながっている。	学習、スポーツ、文化芸術	知的障害、視覚障害、聴覚障害(手話通訳、要約筆記)
29	京都府	与謝野町障害者福祉会	A	2006年	障害のある会員の健康維持・社会参加への意欲向上や、地域の人々との交流を目的に、毎年、卓球バレー大会を開催している。障害の有無に関係なく、ゲームを通じて交流を楽しむ場となっており、町に共生の風土を育む上で大きな役割を果たしている。	学習、スポーツ、会員間交流・福祉増進	町内の障害者
30	大阪府	甘南備広場	A	1995年	府立富田林支援学校卒業生の保護者とPTA地域活動委員会が中心となり、在校生・卒業生に対する読書・文化活動や、休日活動等の支援を長年にわたり実施している。障害のある人の学校卒業後の自立と社会参加意欲の向上・継続に貢献している。	スポーツ、文化芸術	知的障がい
31	兵庫県	特定非営利活動法人文化・福祉・人権サポート アエゾン	A	2004年	指定相談支援事業所を通じて、福祉サービスの活用について相談支援を行っている。また、地域活動支援センターを通じて、障害のある16歳以上の人に対し、一人一人の希望に寄り添い、創作活動、勉強会、地域のイベントへの参加等を支援しており、地域での居場所や生きがいづくりの一助となっている。	学習、スポーツ、文化芸術	障害当事者とその家族、地域住民

32	兵庫県	西村 正規	A	1985年	身体障害当事者としての経験を活かし、長きにわたり、身体障害者相談員及びスポーツ指導員として、障害者スポーツ活動の指導・支援を行っている。スポーツを通じた障害者の生きがいづくり、仲間づくりに加え、他の町民団体と交流を深めることで、共に参画して実現するユニバーサル社会への理解が深まりつつある。	スポーツ	身体障害者、知的障害者、精神障害者
33	奈良県	特定非営利活動法人ならチャレンジド	A	2010年	特別支援学校の在校生・卒業生による芸術作品を発表する「キラリと輝く！特別支援学校アート展」「特別支援学校と病院を結ぶ！奈良県立医科大学附属病院アート展」等を開催している。アート展を通じ、障害者の活躍の場の提供、来場者との交流や理解促進に寄与している。	文化芸術	すべて(主に知的障害、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害)
34	鳥取県	医療法人 養和会 メディカルフィットネスセンターCHAX	B	2016年	理学療法士、医師、健康運動指導士、障がい者スポーツ指導員、ソーシャルワーカーによる企画・実施の下、障害のある人となない人が、ストレッチ及び体操や、レクリエーションスポーツ、競技スポーツ等と共に楽しむ場を提供している。大会やイベントへの参加等、地域での活躍の場を広げるとともに、地域住民の障害理解に貢献している。	スポーツ	主に肢体不自由児・者
35	岡山県	津山市青年学級	A	1996年	16歳以上の知的障害者を主な対象として、公民館等でダンス、料理教室、工作、陶芸等の体験活動を行っているほか、日帰りでバスでの社会見学を実施している。障害者が企画の主体となって活動することにより、達成感や自信を得る機会となっている。また、一般市民からのボランティア募集により、ボランティア育成にも寄与している。	学習、スポーツ、文化芸術	主に知的障害をもつ障害者(青年)
36	広島県	竹原市ふれあい運動会実行委員会	A	1986年	障害者のスポーツ交流と運動競技を通じて、支え合い、励まし合いながら、体力の維持増進を図ることを目的として、運動会を開催している。市内の障害福祉団体のほぼ全てとボランティアスタッフが参加するとともに、地元の高専学校、近隣大学、企業等との連携も行っている。障害者の自立支援に寄与している。	スポーツ	身体障害(視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、内部障害)、知的障害、精神障害
37	山口県	山口県車いすバスケットボール連盟	A	1971年	障害者スポーツの競技団体として、長年にわたり、車いすバスケットボールの大会の主催や選手の育成に取り組んでいる。障害者スポーツの普及、県内の障害者の自立と社会参加の促進に貢献している。	スポーツ	身体障害児・者
38	徳島県	江川 禎彦	A	1987年	長きにわたり、障がい者スポーツにおいて、全国大会につながる予選会での審判・競技運営、徳島県選手団の引率等を行っている。障がい特性を理解し、卓越した指導技術と豊富な経験、あふれる情熱をもって選手の育成にあたっている。徳島県における障がい者スポーツの発展に貢献している。	スポーツ	すべて(主に身体障がい)
39	徳島県	生田 誠治	A	2008年	障がい者が集う交流拠点である「徳島県立障がい者交流プラザ」で、敷地内花壇等の植栽、花植え等のボランティアリーダーとして、年間10万人を超える「プラザ」の来館者に「こころやすらぐ環境」を提供している。障がい者へのガーデニング指導も行い、障がい者の余暇活動の充実に寄与している。	文化芸術	知的障がい者、身体障がい者、精神障がい者
40	愛媛県	幸田 裕司	A	2004年	ボランティア等の参加を得て、精神障がい者バレーボール等の選手の育成・指導や、障害児者フットサル交流会の実施に携わっている。また、行政職員、保護者、教員等を対象とする、障害児者の支援や障がい特性の理解に関する講演会・研修会の講師を務めている。障害者スポーツの普及啓発やボランティア参加の機会創出に寄与している。	スポーツ	肢体不自由・知的障がい・その他の障がい
41	愛媛県	とべ・ひびき会	A	2003年	聴覚障がいのある人となない人に、「耳の日の勉強会」、「1日研修会」、「スポーツ交流事業」、「議会と町づくりを語る会」、「手話奉仕員養成講座」等の交流や学びの場を提供し、聴覚障がいに関する理解の向上や参加者の親睦に努めている。障がい者の生きがいづくりに大きく貢献している。	学習	聴覚障がい

42	高知県	矢野 泰彦	A	2003年	知的障害のある人を対象としたボウリング、バスケットボール、競泳、陸上競技の部の立ち上げ、スペシャルオリンピックス日本・高知の設立・運営や、全国大会での選手団の組織、引率、指導に関わっている。知的障害のある人が生涯スポーツを楽しみ、社会ルールを学ぶ機会の創出や、地域社会による障害への理解の増進に尽力している。	スポーツ	知的障害
43	福岡県	布の絵本「ひまわり会」	A	1985年	障がいのある子どもや未就学児でも安心・安全に触って遊べる布の絵本やおもちゃの作成を行い、市内の障害者施設、図書館等へ寄贈・無料貸出を行っている。障害のある子どもたちの成長と発達支援に寄与している。	学習	知的障がい者、未就学児など
44	熊本県	合志市音声訳グループこだま	A	1996年	市広報や社協だより、議会だより等の音声訳やCDの発行等、視覚障がいのある人や施設入所者の方々が必要とする情報を声にして届けるボランティア活動を実施している。各種イベント参加のための外出介助、福祉施設での読み聞かせ等も行っている。長きにわたり、視覚障がいのある人の生涯学習を支えてきている。	学習、情報保障	視覚障がい者
45	大分県	アイメイト中津きさらぎ会	A	1989年	視覚障害者を含む会員が、点訳部、音訳部、企画部の3つの部に分かれて活動を実施している。企画部では、支援者(ガイドヘルプ)の研修に加え、料理教室やサウンドテーブルテニス、風船バレーボール等に参加するためのサポートを行っている。長きにわたる活動であり、市の社会教育を基盤とした「人づくり、つながりづくり、地域づくり」に大きく寄与している。	学習、スポーツ、情報保障	視覚障がい者
46	大分県	ヨカたの(余暇を楽しく過ごそう)	A	2006年	障害者の余暇活動の充実を目的として、サッカー、音楽、美術、山登りの4つの活動を企画・運営している。大分大学サッカー部、現職・退職教員、福祉施設職員等の多くの支援者が参加しており、当事者の生活意欲の向上や社会参加の促進や、大学生等による障害理解につながっている。	スポーツ、文化芸術、余暇活動	すべて
47	鹿児島県	ひわきYOU遊スポーツクラブ	A	2004年	総合型地域スポーツクラブとして、障害の有無に関わらず参加できるグラウンド・ゴルフ教室を開催している。障害者同士や支援者・一般参加者との交流の場ともなっており、障害者への理解促進、市民の健康増進に寄与するとともに、自立心や生活力の向上、生きがいづくりの一助となっている。	スポーツ	主に知的障害者
48	鹿児島県	特定非営利活動法人北斗会	B	2012年	就労継続支援B型事業所として活動を行う一方で、障害者の余暇活動の充実のため、楽器演奏や歌の練習をサポートし、市内病院でのコンサートを実施している。障害者にとっては学びの成果を地域の方々に認められることが喜び・生きがいとなっている。また、高校生を対象に手話教室を開催したり、コンサートの際に手話通訳を行っており、障害理解に寄与している。	学習、文化芸術	すべて
49	沖縄県	社会福祉法人 五和会 名護療育医療センター	A	2006年	沖縄県の自転車大会「ツール・ド・おきなわ」に県内北部地域の障がい児者及びその家族が毎年参加している。特殊な自転車と乗車時ポジションングや試走等の事前準備と、バリアフリーサイクリングに適したコース設定により、楽しく安全に走れるよう支援を行っている。大学生、高校生や専修学校の生徒もボランティアとして参加し、障害の有無を超えた地域交流の場となっている。	スポーツ	障がい児者及びその家族
50	沖縄県	玉城 達男	A	1999年	20年余りにわたって、沖縄盲学校の生徒に対し、放課後や寄宿舎での余暇活動の時間に、沖縄伝統芸能(三線)の指導を行っている。卒業生から指導者を輩出するなど、後継者育成に寄与している。三線の点字楽譜の普及を通じ、障害者の生涯学習を支援している。	文化芸術	視覚障害者、沖縄盲学校の生徒等

51	仙台市	野口 和人	A	1999年	①知的障害者を対象としたサッカークラブ、②自閉スペクトラム症者を対象とした鉄道に関する趣味の場、③特別支援学校高等部(知的障害)の生徒・卒業生を対象とした生涯学習活動支援の運営を中心となって行っている。多様な学びの場と支援活動の創出に貢献している。	スポーツ、文化芸術	知的障害者・自閉スペクトラム症者
52	さいたま市	さいたま市聴覚障害者協会	A	2001年	聴覚障害者に対し、社会生活、職業生活、家庭生活に関することや、法律や経済、一般教養等について知識の習得を図り、情報交換を行うため、「聴覚障害者のための社会教養講座」を開催している。受講者からの満足度も非常に高い活動となっている。	学習、情報保障	主に聴覚障害者、手話学習者
53	横浜市	withネットワーク	A	1997年	障害者のバンド活動の支援やコンサートを開催している。また、福祉作業所の作品紹介、展示、販売を通じて地域交流を図っている。障害者が音楽を通じて自己表現や、地域との交流を通じて学びを得るとともに、世代を超えたバリアフリー社会の実現に貢献している。	文化芸術	障害者
54	浜松市	三ヶ日町手話サークル「いちばん星」	A	1988年	手話の勉強会、手話通訳、生涯学習フェスティバル、学校での手話教室、講演会の開催等を通して、聴覚障がいのある人とない人が一緒に手話を学び、交流し、聴覚障がいへの理解を深める場を提供している。また、手話のできる人材の育成を通じて、聴覚障がい者が地域のイベントに参加しやすい環境づくりに寄与している。	学習、文化芸術	聴覚障がい
55	岡山市	社会福祉法人 あいあい 就労継続支援B型事業所青葉作業所	A	2004年	通所者が楽しみや生きがいをもち、かつ、地域社会において主体的に生活することができるようになることを目的に、講義、体験活動、レクリエーションなどを、幅広い学びの場を提供している。活動を通して、通所者の楽しみや生きがいづくりに大きく貢献している。	学習、文化芸術、生活習慣改善・ボランティア・レクリエーション活動	知的障害 身体障害 精神障害
56	北九州市	公益社団法人 北九州市障害福祉ボランティア協会	A	1982年	障害のある人の社会参加支援を積極的に実施している。IT技術の習得支援を通じて、重度の障害のある人もパソコンを駆使し、社会とのつながりを深めている。また、障害のある人がボランティアとして、障害のない人とともに障害のある人の社会参加を促す活動を支援している。	ボランティア活動、余暇活動、IT活動、スポーツ活動	すべて(主に身体障害、知的障害、精神障害)
57	熊本市	NPO法人 オハイエくまもと	A	2009年	知的発達障がいのある人による日常的な音楽活動の発表の場として、無料の街角コンサートを開催している。障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、心のバリアフリーを目指している。また、市の中心市街地で開催する音楽祭は、プロとアマチュアと一緒に演奏し、観客も一体となることで、障がいの有無を超えて楽しめるイベントとして地域に親しまれている。	文化芸術	知的発達障がい

【文部科学省推薦関係】

1	全国特別支援教育推進連盟	社会福祉法人 金沢手をつなぐ親の会(あすなる学級)	A	1966年	学校を卒業した知的障害者が、余暇活動や社会勉強をする場として、日曜日に活動し、一般教養、茶道、生け花等のクラブ活動、その他、ボウリング大会等の余暇活動を実施している。学級生の希望・意見を基に計画を立てている。学びを通じて、家庭で調理を行ったり、社会生活上のマナーが身に付いている。	学習、スポーツ、文化芸術	知的障害者
2		社会福祉法人 日本肢体不自由児協会	A	1975年	全国の肢体不自由児・者から美術作品を募集し、展示会を開催している。当事者の生きがいづくりや障害者に対する理解を促進している。近年では重度障害者の作品も増えている。また、キャンプ活動の実施を通じて、自立生活を始めた、作業所でリーダーシップを発揮し運営に携わることへとつながっている。	文化芸術	肢体不自由

3	日本障がい者スポーツ協会	一般社団法人 日本肢体不自由者卓球協会	A	1981年	パラリンピック等国際大会での選手の活躍に向けた事業や、地域での肢体不自由者卓球の普及活動を実施している。また、選手発掘事業、地域での交流事業も行い、選手登録者数も年々増加している。卓球を通じて、選手の社会的自立、健康の維持・増進、競技力向上を推進している。	スポーツ	身体障がい者及びその関係者
4		一般社団法人 日本身体障害者アーチェリー連盟	A	1976年	パラリンピック等国際大会での選手の活躍に向けた事業や、地域での障がい者アーチェリーの普及活動を実施している。また、選手発掘事業、地域での交流事業も行い、障がい者アーチェリーの普及を行っている。アーチェリーを通じて、選手の社会的自立、健康の維持・増進、競技力向上を推進している。	スポーツ	身体障がい者及びその関係者
5	全国芸術系大学コンソーシアム	海老塚 耕一	A	1986年	視覚障害者をはじめとする全ての障害者が美術に触れる機会を提供するため、美術館、特別支援学校(視覚障害)等と連携し、展覧会(「触れてみる展示」等)や、ワークショップ等を開催している。障害のある人にとって、「鑑賞する楽しさ」「創作、表現する楽しさや充実」を感じる機会の提供や、文化芸術活動を通じて自己表現への興味喚起、学びの意欲につながっている。	文化芸術	すべて(主に視覚障害者)
6	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク	岡山ももの会を支援する会	A	1997年	「岡山ももの会」(知的障害当事者の会)が主体的に企画・運営する活動(勉強会、スポーツ・文化活動、レクリエーション、岡山駅前の清掃活動)をボランティアとして支援している。知的障害のある人とその活動、支援のあり方についての理解・啓発活動にもつながっている。	学習、スポーツ、文化芸術、レクリエーション、清掃等ボランティア活動	主に知的障害者
7	大学における学習<各大学>	淑徳大学 手話サークル「たんぽぽ」	A	1984年	聴覚障害者を含むサークルで、聴覚障害者である手話パフォーマー指導のもと、障害者が健常者と共に手話パフォーマーを学び、手話ソングや手話劇を発表したり、手話レクリエーション、例会(手話の勉強会)を実施している。聴覚障害者への支援のみならず、手話の楽しさを普及することにより、障害理解・啓発活動にも寄与している。	学習、文化芸術、情報保障	すべて(主に聴覚、言語障害)
8		東京学芸大学「ふれる・もつ・かんじる」展実行委員会	A	2009年	重度重複障害児を対象とした特別支援教育及びインクルーシブ教育のモデルを探るとともに、大学近隣の地域にそれらのモデルを提唱していくことをねらいとして、毎年テーマを決め、特別支援学校の児童・生徒と大学美術科の学生の作品の展示及び交流活動を行っている。地域の障害の有無を超えた、主体的な学び場づくりのモデルとなっている。	文化芸術	院内学級の児童・生徒及び卒業生、特別支援学校の児童・生徒
9		長岡技術科学大学 地域児童生徒・障害支援のためのパソコン教室「みんなのパソコン教室」	B	2017年	軽度な知的障害の重複を含む発達障害のある児童生徒と、就労移行支援事業所に所属する総合支援学校卒業生を対象として、パソコン教室を開催している。新型コロナ感染症拡大防止のための遠隔教育にも取り組んでいる。地域の支援を得つつ、障害のある当事者同士のピアサポートの輪も広がっている。	学習、文化芸術、情報保障	発達障害
10		名古屋市立大学 障害者問題研究会	A	1978年	作業所やホームで生活している知的障害のある方々(以下、「仲間」と、月に一度の交流活動(日曜日のお出かけ、料理、レクリエーション、工作等)と、年に数回のお出かけや夏旅行を行っている。旅行を通じて支援者が当事者のかかわり方にさらなる気づきを見いだすなど、密度の大きい活動となっている。当事者の要望や意見を聞きながら、主体性を尊重し交流している。	学習	主に知的障害のある方々
11		滋賀県立大学ボランティアサークル Harmony	A	2003年	「NPO法人障害者の就労と余暇を考える会メロディー」の専属ボランティアとして、特別支援学校・学級、作業所などに通う自閉症やダウン症など、他人とのコミュニケーションに困難が生じる障がい児・者を支援する活動を行っている。障がい児・者やその家族が社会の中で当たり前で生活したいという願いを実現している。	学習、スポーツ、文化芸術、その他(余暇活動)	NPO法人障害者の就労と余暇を考える会メロディー(障がい児の保護者の方々)とその子どもたち

12	神戸市外国語大学ボランティアコーナー 学生スタッフ	A	2008年	大学近隣の地域福祉センターに障がいのある子どもたちを招き、「豆まき」「縁日」「運動会」等季節にちなんだ遊びの会を実施している。子どもたちが他者との関りや遊びを通じて、コミュニケーションを取れるようになりルールを守って楽しく遊び、社会性が身につくことを目指している。また、同じ境遇の保護者同士が交流し、情報交換できる貴重な場の提供にもなっている。	その他(子どもの遊びの機会保障)	すべて(主に、発達障害、ダウン症など)の子ども
13	広島大学大学院人間社会科学研究科附属特別支援教育実践センター	A	2007年	障害のある幼児・児童・生徒・成人・保護者・教員等への臨床・研修業務を実施するとともに、障害のある人の生涯学習支援を支える実践的活動として、地域と連携し、「アートは世界を生活と社会を変える」「視覚障害者のためのiPhone活用研修会」「吃音のある学生のための就活講座」「特別支援教育サポーター活動」等の取組を実施している。障害者の生涯学習支援活動を支える人材の輩出や、地域での生涯学習の推進につながっている。	学習	視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・発達障害・言語障害
14	愛媛大学教育学部特別支援教育講座TREASuREプロジェクト	A	2005年	県内の障害児者支援団体(当事者会、保護者会、行政等)と連携し、学校外において、障害児の社会性向上のための取組(ライフスキル教育/ソーシャルスキルトレーニング事業)を実施している。また、障害支援機器等を用いた生涯学習支援や読書のバリアフリー化支援を行うことで、様々な障害当事者の読書環境の情報保障に寄与している。	学習、情報保障、その他(ライフスキル教育)	重複障害(重症心身障害・盲ろう)、発達障害、知的障害、肢体不自由児者等
15	中村学園大学発達支援センター	A	2008年	発達障害児者を対象とした「対人交流支援活動」では、参加者が、安心して楽しく人と関われる場所を提供し、さらにグループワークを通して他者との適応的な関わりを増やしている。また「動作法による自立支援活動」では、動作法(動作課題を通してこころの活性化を図る心理療法)による自己コントロール力の向上を通じて、肢体不自由者の姿勢・動作、発達障害児者の不適応行動の改善や社会生活の適応、自立への一助につなげている。	学習	すべて(主に、発達障害児者、肢体不自由児者)
16	九州ルーテル学院大学 自閉症支援部	A	1997年	学生スタッフが、四季ごとのイベントの企画、計画作成、支援の実施等、熊本県自閉スペクトラム症協会の当事者の生涯学習活動を支援している。当事者において知的・言葉の発達や情緒の安定が促されるとともに、余暇活動を楽しんでいる。また、学生の支援への意欲の向上や支援の輪の広がりも期待される。	その他(自閉スペクトラム症児・者への生涯学習支援活動)	自閉スペクトラム症児・者